



川崎市立 栗木台小学校

校 長 袴田 深雪
児童数 6 1 7 名

住所 〒215-0033 川崎市麻生区栗木 5-15-1 電話 044-987-4633

〈学校の創立〉

柿生小学校黒川分校が独立する形で
1983(昭和58)年4月1日開校
(開校記念日11月2日)

〈学区域〉

栗木
栗木1～3丁目
栗木台1～5丁目
栗平 1、2 丁目

校歌 大場貴子 作詞、川崎祥悦 作曲

- 1, 川崎の北 黒川の
緑豊かな 多摩の丘
自然のうたに はぐくまれ
つよいからだで たくましく
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 2, 歴史のあゆみ あたたかく
栗木の今日に つづいてる
仲良く友と 励みあい
あつい友情 いつまでも
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 3, 仰げば遠く 光る富士
希望にむねを ふくらませ
明日の世界を きずくためのぼそう
知恵を かぎりなく
ああ 栗木台 栗木台小学校

栗木台小学校は多摩丘陵を新しく開いた新興住宅地の中にあり、学区は市街化調整区域及び農業振興地域に指定された黒川地区に隣接している。黒川地区は今も谷戸地形を利用した農業が引き継がれ、里山的環境が残っている。この恵まれた環境を活用しようと、生活科や理科、社会科、総合的な学習の時間を中心に地域を学習材として様々な取り組みを行っている。

① たけのこ掘り



地域の方に黒川の竹林を開放していた
だき、5年生が毎年たけのこ掘りを行っ
ている。たけのこ掘りを通して、人の手によ
って、自然を維持することの大切さを学
んだ。子どもたちは一生懸命に土を掘り、
今年も立派なたけのこが収穫できて満足
そうに学校に戻ってきた。



② 稲作体験



今年度もＪＡセレサ川崎の方の協力を得て、黒川の田んぼで５年生が稲作体験を行った。６月の田植えでは靴を脱ぎ、靴下で田んぼに入り、泥の感触に大騒ぎをしながらも優しく苗を植えていた。１０月には待望の稲刈りを体験した。しっかりと実った稲穂に目を輝かせながら、慣れない鎌を手にとり収穫した。１２０kgほどの米を収穫することができ、みんなで分配して大切に持ち帰った。これから、家庭科の調理実習で炊飯し、収穫を味わう。

③ 黒川里山体験プロジェクト



総合的な学習で里山を守る活動を知るため黒川野外活動センターの職員の方にお話を伺う。課題別に分かれて、竹細工・まき割り・土づくり・炭づくりの体験をさせていただく。国語の学習で「身近にある里山を守り、生かしていく活動」について話し合い活動を行う。今後、総合的な学習で実際に自分たちにできる活動を行っていくところだ。



川崎市立 千代ヶ丘小学校

校 長 柴田 雅之
児童数 484 名

住所 〒215-0005 川崎市麻生区千代ヶ丘 8-9-1 電話 954-1080

〈学校の創立〉

1984 (昭和 50) 年 4 月 1 日

〈学区域〉

千代ヶ丘 1～9 丁目

細山

細山 8 丁目

万福寺 4 丁目 13, 14, 21～23 番

万福寺 5 丁目 20 番

校歌

大澤功一郎 作詞 西崎嘉太郎 作曲

- 森のみどりにつつまれて
富士を仰ぐわが母校
こころ気高くすこやかに
学び育つわれらが誇り
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校
- 古き歴史にはぐくまれ
多摩に光る学び舎は
すがた明るくさわやかに
学び集うわれらが泉
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校
- 丘に勇気がみちあふれ
あすに伸びるわが友は
のぞみ楽しくおおらかに
学び励むわれらが力
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校

千代ヶ丘小学校は今年度、創立 50 周年を迎えました。12 月には記念式典が開かれ、千代ヶ丘小を支える地域の方、歴代の校長先生、職員を招待し、50 周年をお祝いするべく、各学年出し物を披露しました。

千代ヶ丘諸王学校を象徴する、5 色八重咲散椿、校舎から見える富士山など自然豊かな特色をいかした出し物が行われる一方、高学年からは SDG s を推進しようと発表したり、6 年生からはこの先の 50 年千代ヶ丘とどのようにつながっていきたいか、郷土愛を表現したりなど、それぞれの工夫が見られました。



5 年生は、総合的な学習の時間で万福寺人参を栽培しています。地域で伝統的に育てている人たちの万福寺人参への愛情、途絶えてしまうかもしれない現状等を把握し、地域について考え、学んでいます。

1. 種まき(7月)

昨年度の 5 年生から、万福寺人参の栽培について話を聞きました。地域に住む一員として伝統野菜を守り、受けついでいこうとする意欲が芽生えました。調べたり、聞いたりして種まきについて知ることができました。長く、おいしい人参を育てるために、畝を高くしたり、ビニール袋を使って土を高く積んだりしました。



2. 水やり(7月～11月)

夏休みも当番で水やりや除草を行いました。今年は夏の気温が高く、土が乾燥してしまい、発芽が難しい状況でした。理科の学習で発芽の条件などを学びましたが、うまく生かすことができず、植物を育てていく難しさを実感しました。

3. 再度種まき、追肥(9月)

あまり発芽しなかったので、原因と対策を話し合い、解決方法を模索しました。調べていくと室内で発芽させたものを畑に植えることで、育つとの情報を得た子どもたちは、さっそく実践しました。また、追肥を行いました。



4. 収穫(12月)

2回目の種まきでもなかなか発芽せず、3, 4本のみ収穫でしたが、自分たちで育てた人参を収穫できる喜びを感じながら活動していました。今回上手くいかなかったこと、上手くいったことを来年につなげられるようにしていこうと思います。



5. 試食会(12月)

収穫した人参を洗って切って、火を通したものに塩をかけて食べました。地域で売っている万福寺人参を購入して、見比べたり、食べ比べたりしました。普通の人参よりも甘く、おいしいと万福寺人参の特徴を肌で実感していました。



6. 学習のまとめ・情報発信

最後は、これまでの学習を通して学んだ栽培方法や工夫、万福寺人参の魅力等をまとめていきます。麻生区に伝わる伝統野菜と自分たちがどのように関わっていくことがいいのか考えたいと思います。

そして、来年度引き継ぐ4年生を中心に情報を発信します。



川崎市立 片平小学校

校長 紀 裕子
児童数 618名

〈住所〉〒215-0023 川崎市麻生区片平5丁目28番1号 〈電話〉044-987-6367

〈学校の創立〉

1984(昭和59)年4月1日

〈学区〉片平

片平1丁目1～3, 5～20番

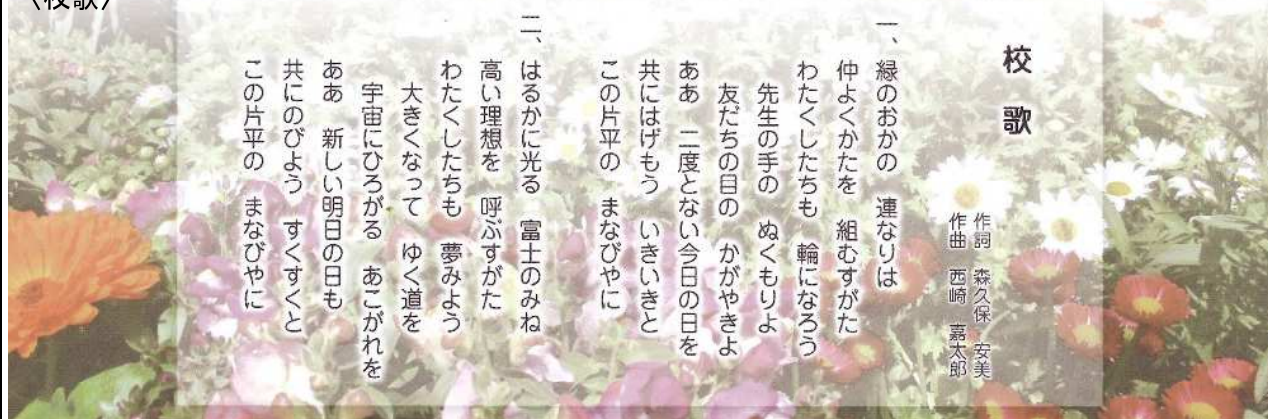
片平5～8丁目

五力田

五力田1～3丁目

白鳥1～4丁目

〈校歌〉



〈学校教育目標〉

風になろう わになろう かたひらの子

考えて実行する子
なかよく語り合い協力しあう
豊かな人間性をはぐくむ教育

学び続ける子

やさしくたくましい子



40周年記念
キャラクター
「はなまる」

地域からの学び ～ 貴重な宝「地域材」の有効活用～

【学び続ける子】【考えて実行する子】【やさしくたくましい子】という目指す子供像を掲げ、「主体性」と「協働」をキーワードに、教育活動をすすめています。日々の教室での学びや児童会活動や学校行事などを通して、子供達が主体的に学び、自分で考えて行動できる力を身に付けてほしいと考えています。また、仲間とのかかわりの中で多様性を認め合い、互いの良さを存分に生かし、苦手なことを補い合い、助けたり助けられたりできる協働の経験をたくさん積んでほしいと思います。

また、本校は「開かれた学校づくり」の具現化を目指して「地域の教育力」を重視しています。特に本年度は、創立40周年記念の節目を迎えたことから、今一度「ふるさと 片平・五力田・古沢・白鳥」のまちのよさに注目しました。そして、生活科や総合的な学習の時間、社会科での学習を中心に、地域の宝である人材や素材を学びに生かそうと取り組みました。本校やこの町の移り変わりを詳しく学べる「地域資料集「かたひら」」の改訂をはじめ、どの学年もゲストティーチャーを招いたり体験授業を取り入れたりするなど、かけがえのない地域材を有効活用することで、今年も充実した教育課程が推進できています。





片平・五力田・古沢・白鳥地区を学区に 昭和59(1984)年に開校して以来、素敵なふるさとの歴史と伝統、そして地域の皆様に支えられ おかげさまで創立40周年!

令和6年11月16日、児童会を中心に決定したスローガンを胸に、児童・保護者・地域の方々・教職員など、本校に携わるカタフルパワーが全員集合し、式典を挙行了しました。



ふるさに愛されて育っている片平っ子。今年も地域の方々や関係機関のご協力で、全校児童が様々な体験活動を展開することができました。その一部を紹介します。

ゲストティーチャーを招いて

< 5年片平囃子体験 >

片平囃子連の皆さんから、お祭りなどで耳馴染みの伝統のお囃子を教わりました。



< 3年夏菟太鼓体験 >

源頼朝が巻狩をしたという伝承を表わした力強い巻狩太鼓を、夏菟山修廣寺で教わりました。



毎年恒例の秋の「地域公園清掃」



麻生区 PTA 協議会会長(本校元 PTA 会長)の須賀さんと多摩生活環境事業所の方のお話の後、片平公園、葉積緑地、高尾根公園、白鳥神社(公園)へ出向いて、清掃・美化活動に取り組みました。

今年は川崎市制 100 周年記念もコラボして、片平公園野球場脇には 3 年生が育てたマリーゴールドの苗を移植しました。



「まちたんけん」地域を巡り新発見！



片平川沿いの緑道を歩いて、その源流や湧水の様子、水田が広がっていた昔話も伺いました。



1～3年生の生活科や社会科の学習では、慣れ親しんでいる公園や地域の施設など、自分たちのまちを探検しました。公園では昆虫や草木とふれ合いながら友達と一緒に楽しみ、身近な施設ではインタビュー活動もしました。学習課題ごとに何度も巡ることで、季節の移り変わりも感じながら、普段気が付かなかった景色や自分たちのまちのよさを新発見できました。



川崎市立 金程小学校

校 長 芦刈 竜哉
児童数 391 名

住所 〒215-0006 川崎市麻生区金程 2-10-1 電話 044-966-5506

<学校創立>

1990(平成 2)年 4 月 1 日

※学校運営協議会

(コミュニティ・スクール)指定

2008(平成 20)年 12 月 1 日

<学区域>

金程 1~4 丁目

向原 1~3 丁目

校歌

作詞 新川 和江 作曲 柏木 俊夫

- 1 すこやかに育て 花咲け ゆたかにみのれ
風が みどりの 森のことばを運んでくるよ
われらの 金程 金程小学校
- 2 大空をめざせ はばたけ あらしの日にも
鳥は 未来の 夢をつばさで描いているよ
われらの 金程 金程小学校
- 3 たゆまずに学べ ときには ゆかいにあそべ
水も さらさら 池にそそいで歌っているよ
われらの 金程 金程小学校

「地域と共に子どもたちを育む学校」をめざして

～ 地域社会に開かれた教育課程の実現 ～

本校は、よりよい学校教育がよりよい社会を創るという理念のもと、教育目標やめざす子どもの姿を学校と家庭、地域が共有し、これからの社会を創る子ども達に求められる資質・能力を明確にして、地域社会と協働しながらその実現をめざす「社会に開かれた教育課程」を推進しています。

【学校教育目標】：『 自分のよさを伸ばし、共に支え合い、よりよい社会を創造する
“学び続ける子ども” の育成 』

【めざす子どもの姿】：**知** 「主体的に考える子」 **徳** 「共に支え合う子」
体 「自分から行動する子」 **地域愛** 「地域と共に育つ子ども」

I. 学校教育目標の実現をめざした「里山フォーラムの各活動団体」との連携

A. 森もりクラブ

今年度より 3 年生「総合的な学習の時間」の環境学習では、1 年間を通して、向原の里特別緑地保全地区(くじらの森)を活用した学習をしています。四季を通して「くじらの森」に出向き、学区にある里山を知る活動から入りました。もっと森の事を知りたいという思いから里山の保全活動をしている「森もりクラブ」の方から森の中を案内してもらったり話を聞いたりして、自分たちが思う里山の良さを交流し、さらにそれを追究していきました。地域を知りさらに好きになり、自分たちが気付いたことや見つけたこと、これからできることを発信しています。



B. 麻生区特産「万福寺人参をつくろう」

2年生の生活科の時間の発展として取り組んでいる「万福寺人参をつくろう」では、里山フォーラム幹事の山崎優さん、コミュニティ委員の松澤さんご指導いただき、万福寺人参を育てています。

種をまき、水やりをして、子ども達と半年間育てた人参を12月に収穫しました。しっかりと地面の奥に伸びた人参の力強さと格闘しながら、子ども達は必死で引き抜き、出てきた人参の長さに驚いていました。その人参は「万福寺人参品評会」に出品し、「努力賞」をいただくことができました。地域特産の人参を育てることで地域への思いを広げていく活動になっています。



C. サツマイモを育てよう

コミュニティスクールとして、金程小学校は地域の方々にたくさんのご助力をいただいております。その一つとして、1年生が生活科の一環として行っている、サツマイモを栽培にお力添えをいただきました。収穫したサツマイモは蒸かして食べました。「世界で一番おいしい!」と自分たちで育てた、サツマイモをほおばっていました。



Ⅱ. 学校教育目標の実現をめざした「多様な各活動団体」との連携

D. どんど焼き ～三町会(向原町会・金程富士見会・金程町会)協働の地域行事への参加～

本校では、「学校を地域社会の核」と考え、地域と連携・協働した教育活動の充実に努めています。

1月には伝統行事であるどんど焼きを本校の校庭で行います。どんど焼きの準備には、4年生から6年生までが参加し、大人用のやぐら、子供用のやぐらと2つのやぐらを作っています。山から竹を切り出し、一本ずつ人の手で運びます。子どもたちのやぐらは地域の方々に教えていただきながら、組み立てるまでの一連の工程を体験しています。地域の方と触れ合いながら、金程に伝わる伝統を引き継いでいます。低学年の子ども達は、校庭の真ん中に立ったやぐらの中を見学するなど、貴重な体験ができています。



E. 伝統文化の体験 ～越中五箇山こきりこ唄保存会との音楽体験～

4年生の「音楽」では、日本の民謡の特徴を感じ取って、表現する学習をしています。本校では、富山県の「越中五箇山こきりこ唄保存会」の協力による伝統文化の体験学習を行っています。こきりこ保存会の方による本物のこきりこを鑑賞し、こきりこの由来や保存会の方たちにとってのこきりこへの思いをうかがいました。その後は、保存会の方と一緒にこきりこを鳴らしながら唄ったり、ささらを鳴らしながら踊ったりしました。「もう一回やりたい」とアンコールの声も上がりました。



F. 稲作の体験学習 ～学校運営協議会委員の協力による環境学習～

5年生は、社会科の稲作学習の発展として、コミュニティの学習協力委員の方の指導のもと、田おこしから収穫まで、年間を通して稲作体験学習を行っています。脱穀では、千歯扱きを使ったり、かつて全国を席卷した「細王舎」の足踏脱穀機を使ったりして、充実した体験活動になっています。今年度は、収穫した米は収穫祭で学習協力委員の方と味わいました。



G. 福祉学習 ～麻生区社会福祉協議会の協力による福祉学習～

4年生は、「総合的な学習の時間」の中で「福祉」について学習しています。社会福祉協議会の協力のもと、ゲストティーチャーから話を聞いたり、実際にアイマスク体験や車椅子体験等を行ったりして、今まで気付かなかった新たな気づきを感じていました。多様な福祉の在り方について学び、共生社会を形成するために、地域社会の中で自分にできることを考える学習を行っています。

H. 陶芸体験 ～陶芸家の先生や陶芸ボランティアの協力による陶芸体験～

10周年記念事業として建てられた陶芸小屋を使い、支援級（あおぞら級）の陶芸活動と6年生の卒業陶芸制作を行っています。陶芸家の先生の専門的な指導とボランティアの方々の支援により、自分の思いを形にする創造的な体験活動ができています。世界に一つだけのオリジナル作品を仕上げることでできる貴重な体験となっています。



金程小学校は、里山フォーラムの「自然と共に暮らし、歴史を紡いできた『私たちのふる里』」を再発見しながら、自然と人間の共生を考えていく」という思いを共有しています。様々な教育活動の中に活動の場としての地域の活用、コミュニティ委員会を中心とした地域や団体の方々の教育支援を活かしています。

本校はコミュニティ・スクールとして、地域社会に開かれた教育活動が未来を創り出す子どもたちの生き方の基礎をつくるために、教職員と保護者、地域住民が“**地域総がかりで子どもの成長を支え応援する**”学校をめざしています。また、学校と家庭、地域との協働を通して生まれる絆を地域活性化の基盤としていける“**学校を核とした地域づくりを推進していく**”学校をめざしています。

これからも、子どもたちが地域に親しみを持ち、“**自分の意思が社会を創る**”という思いを育て、“**持続可能な社会づくりをめざす市民性**”を培っていききたいと思います。



川崎市立 麻生小学校

校 長 山岡 昌子
児童数 7 1 4 名

住所 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 3-24-1 電話 044-954-0397

〈学校の創立〉

1991(平成3)年4月1日

〈学区域〉

王禅寺西6丁目2番

上麻生1、3丁目

上麻生4丁目1～51番

古沢

万福寺1丁目

万福寺2丁目1～3、22番

万福寺3丁目1～11番

万福寺4丁目4～12、15～20番

万福寺5丁目1～18番

万福寺6丁目

校歌

小川 信夫 作詞、佐藤 敏直 作曲

- 1、ひびくメロディ こぼれる笑顔
歌のある町 花の町
おはよう みんなで 口笛ふいて
集う広場に 愛の鐘
心はひとつ 麻生の子
つくろう みどりの ふるさとを
- 2、燃える太陽 ひかりの大地
風は踊るよ 丘の上
今日も 明るく 励ましあって
飛ぶよ 若鳥 雲のみね
やさしく 強い 麻生の子
のばそう 豊かな このいのち
- 3、仰ぐ 夕焼け あかねの空に
遙か またたく ひとつ星
さよならあした 手を取りあって
さがす 幸せ 青い鳥
未来に 翔る 麻生の子
ひらこう世界に このねがい

《1年生》-生活科-

麻生中学校近くにある「のびのびファーム」にサツマイモを植え、収穫を楽しみました。畑の管理は主に地域の方にご協力いただいています。また、幼保小連携事業の一環として行う地域の保育園、幼稚園の園児を招いての「秋まつり」の準備のため、地域の公園に出かけ、秋の自然と関わりながら、どんぐりや紅葉した落ち葉を拾ったり、おもちゃ飾りを作ったりする活動を楽しみました。幼稚園や保育園のかわいいお友達にも、たくさん遊んでもらえて満足気な様子でした。



《2年生》-生活科-

一年生と同様に「のびのびファーム」で大根を植え、収穫を楽しみました。小さな種からこんなに大きな大根が育つことに驚き、力と思いを込めて、一生懸命大根を抜いていました。農家の方から「どんな料理ができそうかな。」と聞かれ、子どもたちは思いつく大根料理を発表していました。帰り道には「重い、重い。」と言いながらも「うちは〇〇にして食べよう。」「うちは△△。」などと口々に話し、食べるのが待ちきれないといった様子が見られました。





《3年生》-社会科-

社会科の学習で、地域で生産される野菜を育てる農家の方を訪ねました。代々受け継がれている農地には、万福寺ニンジンや里芋、大根などの葉が青々と茂っていました。

子どもたちは事前に考えてきた質問をして、農業を営む方々のやりがいや生産の工程と工夫などを学ぶことができました。

実際に見て聞いて匂いをかぐなど、五感を使って体験的に学ぶことができ、見学後、学んだこと、感じたことを熱心にワークシートにまとめる姿が見られました。地域にこのような里山があり、そこを大切に守りながら、農業を営む方々と出会えたことは子どもたちにとって貴重な体験となりました。



みんな一生懸命に見聞きたことをメモしています。

《5年生》-食育・環境教育-

毎年、本校の敷地内で、春から秋にかけ、「米づくり大作戦！」に取り組んでいます。今年も、田起こしから稲刈り、脱穀作業まで、地域の方をお招きしてその作業のやり方を詳しく教えていただきながら、おいしいお米を収穫することができました。米の銘柄は神奈川県の特産品種「はるみ」といいます。今年も、水の管理とお米が大好きなスズメに悩まされながら、役割を決めたり案山子を立てたりしながら収穫量を増やす努力を続けました。結果、最高新記録の7kgのお米が収穫でき、地域の方も「この広さの田んぼで7kgは素晴らしい。」と驚いていらっしゃいました。

収穫後は、体験的な学習だけではなく、一人ひとりが抱いた素朴な疑問をきっかけに、G I A 端末や図書資料を有効に活用して探究的な課題解決学習を進めました。家庭科の学習とコラボしてお米の炊飯の仕方を学び、地域の方に感謝の気持ちを伝えつつ一緒に食べる機会をもちました。甘くてとてもおいしいお米でした。米づくりの大変さと共に収穫の喜びを味わうことができました。



何度も学校に足を運んで、稲の生育状況を確認してくださいました。その都度、貴重なアドバイスをいただきました。



川崎市立 王禅寺中央小学校

校 長 小堤 紀子
児童数 507 名

住所 〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺東 4-14-1 電話 044-988-9700

〈学校の創立〉

王禅寺小学校と白山小学校を統合し、
王禅寺中央小学校として
2009(平成21)年5月1日創立

〈学区域〉

王禅寺568～929, 182～1338, 1754～1767番
王禅寺東1丁目17番1, 5号, 18番1号,
19番10, 12号, 20～34番
王禅寺東2丁目13番18～27号, 15～49番
王禅寺東3丁目
王禅寺東4丁目2～27, 31～35, 36番37号
王禅寺東5丁目1～46,
47番10～20号, 52番12号
下麻生2丁目12～14番
下麻生978, 1135～1136番
白山1丁目(さつき) 白山2丁目(樺)
白山3丁目(楠) 白山4丁目(ポプラ)
白山4丁目(楓) 白山4丁目(他)

校 歌 「友と通う道」

- 1、みどりの大地に さわやかな風が
ぼくらの夢をのせて そっと つつみささやく
手と手をつないで なかまが集えば
新しい力が 今 わいてくる
友と語りながら 通う道 うれしいな
たとえ つらいときも ずっと いっしょ
明日に向かい 翼を広げ大きく
ぼくらの夢 とどけ 宇宙へ
- 2、青空にうかぶ 真っ白な雲が
ぼくらの希望をのせて そっと 空をめぐるよ
心はずんで ほほえみ合えば
新しい力が 今 うごきだす
友と語りながら 通う道 うれしいな
たとえ かなしいときも ずっと いっしょ
未来に向かい 翼を広げ大きく
ぼくらの希望 とどけ 宇宙へ
ああ 王禅寺中央小学校

子どもたちを育む里山の自然と地域の名人

◎「王禅寺ふるさと公園」とのかかわり◎

本校の学区の近くには、里山の自然を生かした「王禅寺ふるさと公園」があります。春には「玉縄桜」が咲き、夏には小川のせせらぎ、秋には遊歩道の紅葉や、冬の澄み渡る空には、望遠広場から富士山を楽しむことができます。

子どもたちは四季の自然を味わえる公園で、元気に活動しています。特別支援級の遠足では、芝生の広場で竹とんぼをとばしたり、生活科の秋さがしの单元では、ふるさと公園で拾った自然物を使って遊びや飾りづくりを楽しんでいます。3年生の総合的な学習の時間では、ふるさと公園の魅力を調べ、公園を支えている人々とのかかわり、ふるさと公園を大切に守ろうという思いをもつことができます。

里山の自然に育まれながら、子どもたちの心と体は大きく成長しています。



夏



冬

◎地域の野菜名人 高桑さんとのかかわり◎

本校は閑静な住宅街に位置しながらも、10～20 分ほど歩けば、特別緑地保全地区や田畑があります。2 年生の生活科「ぐんぐんそだて わたしのやさい」、3 年生の社会科「農家の仕事」では、地域の農家、高桑さんをお招きし、野菜の育て方や農業に携わる思いについてお話をうかがっています。

子どもたちは、それぞれの野菜に合った育て方や工夫があることに気づき、野菜に親しみをもって大切に育てようという思いをもっていました。また、農家の仕事は生活とかかわっていることや、農家の工夫や苦労なども知ることができました。



◎地域のお米名人 井上さんとのかかわり◎

本校には、バス通りに面して田んぼがあります。稲の成育に欠かせない天気、「晴」と「水」から「王中晴水田」と名付けました。

5 年生が総合的な学習の時間に、地域の農家、井上さんをお招きし、田起こしから田植え、稲刈り、脱穀に至るまで一貫して教えていただいています。秋には黄金の稲穂が実り、見事に収穫できました。

学習のまとめには、井上さん、井上さんをサポートしてくださっている戸倉さんをお招きして、子どもたちが収穫祭を行い、できあがったお米をいただいています。

本校では、里山の自然と地域の“名人”のみなさんにご協力をいただきながら学習を展開しています。ありがとうございます。

王禅寺中央小学校のマスコット

ぜんじ くん





川崎市立 はるひ野小学校

校 長 秋山 直子
児童数 771 名

住所 〒215-0036 川崎市麻生区はるひ野 4-8-1 電話 044-980-5211

〈学校の創立〉

川崎市立栗木台小学校から分離独立し
2008(平成 20)年 4 月 1 日 開校

〈学区域〉

黒川 南黒川
はるひ野 1~5 丁目

校歌「輝くはるひ野」

作詞 校歌作成委員会
作曲 操 雅子

1 夢に満ちた この風は
新しい道 生み出すよ
三本の楠に見守られ
さあ 歩き出そう
出会えた奇跡を喜びに
夢がいっぱいのこの街で
九年を結ぶ絆
The Blue Sky
輝くはるひ野

2 希望に満ちた この風は
新しい世界 生み出すよ
黒川のひざしを感じながら
さあ 手を伸ばそう
永遠の夢を握りしめ
緑あふれるこの街で
九年で育つ絆
The Blue Sky
輝くはるひ野

テーマ 「地域の里山を生かした学習活動」

はるひ野小学校の学区は、はるひ野駅を中心とした新たに開発された住宅地と黒川地域の自然豊かな里山が混在しています。また、東京都町田市、多摩市との境は緑地帯があり、よこやまの道、よこみね緑地、谷ツ公園など季節ごとに様々な自然の表情を見ることができます。その豊かな自然を生かして、本校では様々な教育活動を行っています。自然物や生き物探しのフィールドとして、自然体験の場として、また、そこで活動する人々とのふれあいなど、貴重な生きた教材となっています。特に、開校以来、4 年生では、総合的な学習の時間や理科の学習で、学区の里山に出かけ、季節ごとの自然の様子を継続観察してきました。黒川谷ツ公園を観察するときは環境ボランティアである「はるひ野里山学校」の皆様のご指導を受けながら進めてきました。

【1 年生】中学生とのさつまいもの苗植え・さつまいもほり

黒川にある畑をお借りし、地域の農家の方、JA セレサモスの方にご協力いただきながら、6 月にサツマイモの苗を植え、11 月にサツマイモほりをしました。毎年小学部 1 年生と中学部 2 年生の交流行事としても行われています。大きく育ったさつまいもを中学生に手伝ってもらいながら、1 年生のみんなもたくさんほることができました。サツマイモほりの後には、サツマイモのついでクリスマスリース作りも行いました。



【2 年生】まちたんけん

2 年生の生活科の学習「どきどきわくわくまちたんけん」では、自分たちが住む「はるひ野・黒川のまち」をもっと好きになるために、色々なお店や施設に行き、見学やインタビューをしました。よこみね緑地見学では、水辺を守る会のボランティアの皆さんから、生息する生き物や植物の説明を聞いたり、どのような活動を行っているかなども話していただいたりし、地域について知る機会となりました。

【1 年生】【4 年生】谷ツ公園での観察学習

4 年生では、理科の学習で季節の変化による植物や生き物の変化を調べるために年間 4 回、谷ツ公園の見学を行いました。季節ごとに観察することで、生き物の様子の変化などを実感することができました。里山学校の皆さんに、生き物や植物の名前や特徴など質問した際には、丁寧に説明していただいたり資料をいただいたりと、たくさんの学びとなりました。



多忙な中原稿を作成してくださった先生方に深く感謝申し上げます。

各小学校がそれぞれの地域で、様々な工夫を重ねて、子どもたちの学びや体験が豊かになるよう努められていることがよくわかります。数々の写真からは子どもたちのいきいきした様子が伝わってきます。

そんな学校の様子を多くの皆様に知って頂き、地域総がかりで子どもや学校を支えていく一助になればと学校紹介冊子を作成しました。

2025 年 3 月 2 日

里山フォーラム in 麻生

編集担当 角南ゆり絵・石井よし子

“2025 里山フォーラム in 麻生（第 24 回）”
資料集 24

2025 年 3 月 2 日

里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課
令和 6 年度麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業